

症例演習例題

16才 女子 身長 157cm 体重 53kg

主訴) 発熱

既往歴) 特になし 家族歴) 父: 高血圧

病歴)

2週間くらい前から高校の同じクラスで発熱して休む同級生が多数いた。本日未明に悪寒がして、その後、体温を計ったところ、38.6°Cあった。悪寒は項(うなじ)から後頭部、背部にかけて「ゾクゾク」とあり、間もなく高熱が出たという。その日の午後に母親の付き添いで受診した。

生来、健康で顔色もよいという。日頃から食欲はよく、頻尿や夜間尿、下痢、便秘もなく排尿や便通も良好。足腰は丈夫。皮膚に皮疹や掻痒、乾燥などの症状はない。暑がりでも寒がりや冷え性でもない。

初診時現症、検査所見)

体温: 38.4°C 声力はしっかりしている。

診察時、項背部は凝って、四肢の節々や体のあちこちも痛い。自汗はない。

咳、喘鳴、鼻水、咽頭痛はない。排尿痛もない。嘔吐、下痢もない。

肺聴診: 清 心音: 異常所見なし

咽頭扁桃、鼓膜、結膜: 発赤なし 頸部リンパ節腫脹なし

側腹部の叩打痛なし

項背部は凝るが項部硬直所見はない。Kernig 徴候なし

脈：浮、緊 舌：淡紅 腹：腹力やや強

CBC：8700/ μ L CRP：0.4mg/dl

尿沈査：白血球 1 未満/HPF、細菌（-）

インフルエンザ迅速抗原検査（-） Covid19 迅速抗原検査（-）

以上の症例に医療用漢方エキス製剤を 1 剤処方するとしたら、何を選択するか。東洋医学の立場で考察し、パワーポイントを用いてプレゼンテーションを行え。ただし、現代医学の立場で必要な対応がある場合は併せて述べよ。